

FSC認証商品を推し進めるには

東京都立国分寺高等学校 2年 武田 廉太郎 切刀 ちひろ

はじめに

森林は、地球環境および生物多様性の保全、災害防止など様々な機能をもつが、林業の衰退に伴い、これらの機能も低下しつつある。私達は、持続可能な森林を認証する制度である**FSC認証***を得た商品を推奨することで、森林の機能低下の防止に貢献できるのではないかと考えた。身近なところから始めるために、学生になじみのあるノートに焦点をあてて、**生産者と消費者、小売業者**の3つの観点から、FSC認証の普及に向けて何が必要なのかを模索した。

* **FSC認証** 環境、社会、経済の便益に適切、きちんと管理された森林から生産された林産物や、その他のリスクの低い林産物を使用した製品を目に見える形で消費者に届ける仕組み。認定された独立した第三者認証機関による審査の後、規格を満たしたと判断された場合に発行される。認証された管理体制で取り扱っている製品にのみ**FSCラベル** (右図) を付けることが可能。



目的

FSC認証商品を推し進めるにはどのような手法が適当なのかを解明する。

研究方法

調査① <生産者の視点>

檜原村での林業体験、速水林業の視察

調査② <消費者の視点>

高校生へのアンケート調査 (FSCの認知度や使用しているノートなど)

調査③ <小売業者の視点>

文房具を取り扱っている店舗へのアンケート調査 (FSC認証のノートの取り扱い状況や販売するノートを決める基準など)

調査①

◎ 檜原村での研修 (2022年11月)

- ・ 枝打ち体験
- ・ グループワーク、プレゼン発表
- ・ 日本の林業の現状などに関する講義 (戦後の木材需要の膨大化に伴う大量輸入により、国内の木材価格が低下し、林業の経営が悪化。手入れがなされず、多くの森林が荒廃。後継者不足。)

⇒ FSC認証商品だけでなく、国産材を使用した商品を選択する消費者を増やすための活動も重要

◎ 速水林業を視察 (2023年1月5日~6日)

- ・ 日本で初めてFSC認証を取得した事業者
- ・ 持続可能で生物多様性の高い森づくりを実践

⇒ 紙を使ってはいけないのではなく、「使ってよい紙」と「使わない方がよい紙」を区別することや、使ってよい紙を選択する人を増やすことが重要



写真 (上) 速水林業の明るい森林 (下) 速水林業の均一な年輪の木材

調査② 高校生へのアンケート調査

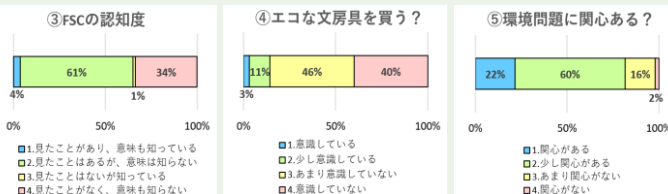
● 調査時期：2022年12月

● 対象：都立国分寺高校 2年生 生徒160名

● アンケート項目

- ① 使用しているノート (複数選択)
- ② ノートを選ぶ基準 (3つまで選択)
- ③ FSCの認知度 (選択)
- ④ エコな文房具を買うか (選択)
- ⑤ 環境問題への関心 (選択)

● 結果 (グラフ①~⑤)



● 考察

- ・ 国分寺高校生に人気のノートはコクヨの「Campus」
- ・ ノートは「値段」と「使いやすさ」を重視して購入する人が多い
- ⇒ 価格重視の価値観を変えていく必要がある
- ・ FSCラベル付き商品を見たことがある人は65%だが、「意味を知っている人」は5%
- ⇒ FSC認証の認知度を向上させる必要がある
- ・ 環境問題に関心がある人 (82%) のうち、意識的にエコな文房具を購入する人は16%
- ⇒ 私たちの消費行動が、環境問題の解決につながることを伝える必要がある

調査③ 小売業者へのアンケート調査

本校生徒がよく利用する文房具取扱店13企業49店舗にアンケート調査への協力を依頼した

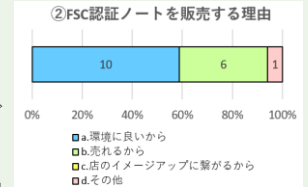
● 調査時期：2023年11月

● 調査対象：13企業49店舗

● アンケート項目と結果

(5企業、22店舗から回答をいただいた)

- ・ (株)ハンズ
- ・ (株)京王アートマン
- ・ (株)イトーヨーカドー
- ・ (株)カルチュア・コンビニエンス・クラブ
- ・ (株)オーケー (順不同)

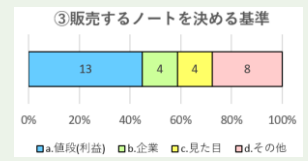


① FSC認証のノートを販売しているか
⇒ 回答をいただいた全企業が「扱っている」

② FSC認証のノートを販売する理由
⇒ グラフ②

③ 販売するノートを決める基準
⇒ グラフ③

④ 最もよく売れるのノートはどれか (選択式)
⇒ 回答をいただいた全企業が「Campus」



● 考察

- ・ 回答をいただいた5企業すべてが「FSC認証ラベル付きのノート」を取り扱っていた。
(注意) ただし、この調査結果から「どの企業もFSC認証ノートを販売している」とは言えない。今回アンケート調査に協力して下さったのは、「FSCラベル付きのノートを販売している企業」で、「そうでない企業」は回答を下さらなかった可能性が考えられる。実際に、アンケート調査に回答して下さらなかった近隣の文具店3店舗を視察したところ、いずれもFSCラベル付きのノートは販売していなかった。
- ・ FSC認証のノートを販売する理由の1位 (6割弱) は、「環境に良いから」
- ・ 販売するノートを決める基準の1位 (5割弱) は、「利益」

⇒ 消費者が、「多少割高でもFSC認証のノートを選択する」ようになれば、取扱店は増えるだろう。一方、「FSC認証のノートを販売していることを分かりやすくする」ために、ポップを付けたり、ノートの裏表紙が見えるように店頭に並べるなど工夫することで、FSC認証ラベル付きのノートを手取る消費者を増やすのではないかと。

結論 ~FSC認証商品を推奨するためのアイデア~

<消費者 (特に、今後消費の中心を担う世代となる中高生) に対して>

● 現状

FSCの認知度は高くない。また、環境問題に関心がある人でも、ノートを購入する際に環境への配慮について考える人は少ない。⇒ 消費行動 (価値観) を変える必要がある。

● 今後の活動プラン

楽しく学べるワークショップを開催

FSC認証紙を使った葉づくり、FSC認証森林の見学、講座 (森林の役割、日本の林業の現状、木材の伐採≠環境破壊 (使ってよい紙もある)、私たちのノートの選択が社会課題の解決につながる! など)

校内にポスターを掲示

多くの高校生がノートを購入するタイミング (3~4月) にあわせてポスターを掲示し、少々割高でも、FSCラベル付きのノートを選択する意義を伝える

FSC認証ノートの販売店マップの作成と配布

近隣の文具店のうち、FSC認証のノートを販売している店舗が一目で分かるようにマップにまとめる

<小売業者およびノートの制作者に対して>

● 現状

FSC認証ノートを販売している店はあるが、取り扱う商品を決める基準の1位は「利益」であるため、利益が上がらなければ、認証ノートの販売店が減少する可能性も考えられる。

● 今後の活動プラン

FSC認証ノートの近くに商品のPRポップを掲示していただく

認証ラベルはあまり目立たないため、FSC認証ノートの近くにポップを掲示したり、認証ノートを目立つところに置いたりすることなどを販売店に依頼する

FSC認証ノートを制作・販売している企業と対話する

本校生は「価格重視」でノートを選択する傾向があるが、「罫線」、「書きやすさ」、「見た目・デザイン」も重要な要素であるため、FSC認証ノートを制作・販売しているナカバヤシ株式会社の方に、高校生が好むノートの特徴などの情報提供を行いたい。



参考文献

- ・ 速水亨 『日本林業を立て直す 速水林業の挑戦』 日本経済新聞出版社
- ・ FSC 「FSC認証について」

https://jp.fsc.org/jp-ja/about_FSC_certificate 最終閲覧日：2023年2月13日